おおいた障がい者
芸術文化支援センター

ワークショップ参加者募集！

舞台芸術ワークショップ ＆ 発表

WAVE なみのダンスとMR



ワークショップ参加者（ミニパフォーマンス出演者）を募集します！

たんぽぽの家で自由な即興ダンスプログラム「ひるのダンス」に取り組んできたジャワ舞踊家の佐久間新さんと、デザインエンジニアの緒方壽人さんのコラボレーションから生まれたソフトウェア「WAVE」を用いたダンスワークショップです。
ダンス経験の有無を問わず、どなたでもご参加いただけます！

定員：15 名
対象：小学生以上
申込締切：10 月 15 日（水）
申込方法：専用フォームからお申込みください。（詳細は裏面）
参加費：無料

※MR ゴーグル（ヘッドセット）を装着予定ですが、着けている人といない人が一緒に踊る場面もあるため、装着が難しい方でも参加可能です。



令和 7 年
11 月 16 日（日）13:00～15:00

たんぽぽの家が取り組むプロジェクト「Art for Well-being」から生まれたダンスワークショップを OPAM で開催します。公募であつまった参加者が、テクノロジーとともに展開するワークショップを体験し、そこから生まれた身体表現（ダンス）を、いろどりゆたかな音楽とともに発表します。

■講師　佐久間 新（ジャワ舞踊家）、
　　水田 篤紀（たんぽぽの家アートセンターHANA メンバー／ひるのダンス）
■出演　公募による参加者
　　ゲストアーティスト：木村秀和（美術家）
■協力　一般財団法人たんぽぽの家、社会福祉法人わたぼうしの会
■会場　大分県立美術館 OPAM　展示室 A 内イベントスペース
　　（大分県大分市寿町 2-1）
■料金　ワークショップ参加、公演観覧ともに無料

参加 ワークショップ
事前申込みが必要です。ワークショップを体験したあとは、ダンス公演（ミニパフォーマンス）にご出演いただきます。（応募詳細は裏面）

鑑賞 発表・公演
どなたでも公演（ミニパフォーマンス）を鑑賞いただけます。開催中の企画展「はばたくつばさ」とともにお楽しみください。

公演は、14 時 40 分頃からです。
ぜひご覧ください。

Art for Well-being とは…

よく生きていくために。
心身の状態が変化しても、自由な創作や表現を。

「Art for Well-being（アート フォー ウェルビーイング）」は、
一般財団法人たんぽぽの家が 2022 年よりスタートした
表現とケアとテクノロジーのこれからの可能性を考えるためのプロジェクトです。
様々な福祉現場や技術者との協働のもと、
障がいのある人のアート活動とテクノロジーの出会いを通じ、
誰もが表現に触れられ、表現しあえる社会をつくっていくことを目指しています。
今回の舞台芸術ワークショップ＆発表「WAVE：なみのダンスと MR」は、
大分のみなさんにも、ここから生まれたダンスプログラムに参加していただく
貴重な機会です。

参加・観覧ともに
無 料

ユニボイスコード
スマホアプリを利用して情報を音声で聴くことができます。

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
令和 7 年度 文化庁
障害者等による文化芸術活動推進事業

主催 おおいた障がい者芸術文化支援センター
（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団

令和７年度
舞台芸術ワークショップ＆発表

ワークショップ参加　申込み

必要事項（氏名・フリガナ、年齢、電話番号、E-mail、郵便番号・住所、障がいの有無、付添者の有無、障がいがある場合の必要なサポート）を記入のうえ、専用 QR コードか FAX からお申し込みください。
10 月 1 日(水)より申込受付開始。10 月 15 日(水) 〆切り後、１週間以内に参加可否をご連絡差し上げます。（申込み多数の場合、抽選とさせていただきます。）

■専用 QR コード

グーグルフォームからのお申込みページです。

■FAX

番号をよくお確かめのうえ、お申込みください。

097-533-4013

申込み事項	（フリガナ） 氏名		年齢	付添者　□あり　□なし 障がいの有無　□あり　□なし
	電話番号			※障がいがある場合、その状態や必要な配慮を記載ください。
	E-mail			
	住所			

※本申込書にご記入いただいた個人情報については、参加者登録に使用する以外の目的に使用することはありません。

よく生きていくために。
心身の状態が変化しても、自由な創作や表現を。

「Art for Well-being（アート フォー ウェルビーイング）」は、一般財団法人たんぽぽの家が二〇二二年よりスタートした表現とケアとテクノロジーのこれからの可能性を考えるためのプロジェクトです。様々な福祉現場や技術者との協働のもと、障がいのある人のアート活動とテクノロジーの出会いを通じ、誰もが表現に触れられ、表現しあえる社会をつくっていくことを目指しています。

今回の舞台芸術ワークショップ＆発表「WAVE：なみのダンスとMR」は、大分のみなさんにも、ここから生まれたダンスプログラムに参加していただく貴重な機会です。

●講師


撮影：草本利枝

佐久間　新（さくま・しん）

幼少の頃、臨床心理学者の父が自閉症の子どもと転がる姿を眺める。大阪大学でガムランを始める。同じ頃、流れる水のように舞うジャワ舞踊家ベン・スハルト氏に出会い、留学を決意。帰国後、様々なダンサーとコラボレーションを開始。たんぽぽの家の障害者との出会い以降、即興ダンスとマイノリティの人たちとのダンスに傾注。 現在は、ジャワ舞踊をベースにアート、ケア、テクノロジーなど領域横断的な協働、新作発表を国際的に行っている。


撮影：草本利枝

水田　篤紀（みずた・あつき）

たんぽぽの家アートセンターHANA メンバー。一つひとつの作品に丁寧に向き合い、絵画制作や身体表現にて自身の表現を深めている。その真摯な姿勢はコラボレーション作品としてかたちになることも多く、2017 年には ShingO2（ヒップホップ MC）と倉智敬子+高橋悟（美術家）とともにパフォーマンス作品を制作。2018 年からは京都市立芸術大学の学生とともに共同制作を行う「OPEN KITCHEN」に参加するなど、様々な方法で表現の可能性を探究している。

●ゲストアーティスト



木村　秀和（きむら・ひでかず）

東京造形大学で彫刻を学ぶ。卒業後造園業、林業などの仕事に従事する。2000 年に大分県杵築市山香町で山仕事の作業中、事故で脊椎を損傷し車椅子生活になる。2008 年頃から社会福祉法人萌葱の郷で自閉症の人達の美術制作をサポートしている。現在、自由即興の会「モガリブエ」を主催して音や動きによるコミュニケーションについて実験している。

主催・問合せ

おおいた障がい者芸術文化支援センター
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
〒870-0029 大分県大分市高砂町 2-33
iichiko 総合文化センター4階
【TEL】097-533-4505（平日 9:00～17:00）
【FAX】097-533-4013
【E-mail】artbrut-oita@emo.or.jp

HP　Facebook　Instagram　Youtube